

テクトロニクス、「CEATEC JAPAN 2013」にて 最先端の計測ソリューションを展示

世界初のスペアナ統合オシロスコープによるノイズ対策や
新製品のパワーアナライザによる高効率電源評価など最新の計測ソリューション

テクトロニクス(代表取締役 米山 不器)は、2013年10月1日(火)から10月5日(土)の5日間、幕張メッセで開催されるアジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展「CEATEC 2013」に、「スマートイノベーションを支えるテクトロニクス/ケースレーインストルメンツの計測技術」をテーマに出展します。

テクトロニクスのブース(展示ホール3ブース:3C48)では、世界初のスペアナ統合オシロスコープ「MDO4000シリーズ」やリアルタイム・スペクトラム・アナライザ「RSAシリーズ」による革新的なノイズ対策ソリューション、新製品のパワーアナライザ「PA4000型」による高確度パワー解析、さらにケースレーインストルメンツから先日発表した世界初、静電容量方式タッチパネル操作可能なソースメータ「2450型」のほか、高速シリアル/デジタル・インタフェース・コーナや基本計測器コーナーにて最新のソリューションを紹介します。

10月4日(金)には、「高効率スイッチング電源回路の評価技術」、「高速・広帯域通信時代の最新ノイズ計測技術」をテーマとするセミナーを会場内で開催します。

1. 展示ブース概要 (展示ホール3ブース:3C48)

■高速シリアル・インタフェース計測コーナー

DDR4やHDMIなどの標準規格に対応したデバッグ、コンプライアンス・ソリューション

<展示機器>

- [MSO70000シリーズ ミックスド・シグナル・オシロスコープ](#)
- [AWG70000Aシリーズ 任意波形ジェネレータ](#)

■高効率電源解析コーナー

高効率PFCスイッチング電源、インバータ回路の解析・評価ソリューション、オシロスコープとパワーアナライザによる高効率電源評価

<展示機器>

- [PA4000型 パワーアナライザ](#)
- [MSO5000シリーズ オシロスコープ](#) + 各種プローブ
- [DPOPWR パワー解析ソフトウェア](#)

■ノイズ計測コーナー

リアルタイム・スペアナによる瞬断ノイズの可視化解析と、世界初、スペアナ統合オシロスコープによる時間相関解析

<展示機器>

- [RSA5000 シリーズ リアルタイム・シグナル・アナライザ](#)
- [MDO4000 シリーズ ミックスド・ドメイン・オシロスコープ](#)
- EMI ノイズ解析用 近接界プローブ

■高精度 DC 測定コーナー

バッテリー充放電サイクル・テスト、太陽電池の電気特性、LED などのダイオード特性などの測定

- [2450 型 タッチスクリーン・ソースメータ](#)
- [2110-100 型 5 1/2 桁 USB デジタル・マルチメータ](#)
- [2636B 型 2 チャンネル・ソースメータ](#)

■基本計測器コーナー

DMM やオシロスコープなど、設計、テストの効率をアップする基本計測器

<展示機器>

- [MSO/DPO3000 シリーズ オシロスコープ](#)
- [MSO/DPO2000 シリーズ オシロスコープ](#)
- [TDS3000C シリーズ オシロスコープ](#)
- [AFG3000 シリーズ 任意波形／ファンクション・ジェネレータ](#)
- [DMM4000 シリーズ デジタル・マルチメータ](#) 他

2. 出展社セミナー概要

■ ES-13 「高効率スイッチング電源回路の評価技術」

講師： テクトロニクス アプリケーション・エンジニア 中門 哲士

日時： 10月4日(金) 11:00-12:00

会場： 展示ホール 2

省電力化やスマートハウスには高効率電源技術が必須です。特に最新の高効率インバータやスイッチング電源回路の評価では、微小電流から大電流まで、幅広いレンジをカバーする電流プローブと広帯域の高電圧差動プローブが重要です。本セッションでは、測定器使用上で留意すべき点や、拡張された新しいプローブ・ラインアップと組み合わせたオシロスコープ、パワーアナライザを使った高効率スイッチング電源回路の評価技術についてご紹介します。

■ ES-15 「高速・広帯域通信時代の最新ノイズ計測技術」

講師： テクトロニクス アプリケーション・エンジニア 鹿取 俊介

日時： 10月4日(金)14:00 - 15:00

会場： 展示ホール 2

近年、電子回路の小型化・低電力化や無線及び有線伝送の高速化によって、ノイズ障害・干渉等による SI や PI などの製品品質の劣化が問題になっています。また、ノイズが広帯域かつ高速化しているために、スペクトラム・アナライザなどの従来の計測機器では観測が困難になっており、製品開発時間の遅延要因にもなっています。本セッションでは、新世代のスペアナ統合オシロスコープ MDO4000 シリーズを用いた、高速・広帯域ノイズの新しい測定・解析手法をご紹介します。

※併設セミナーのご参加については、こちら(<http://www.ceatec.com/ja/registration.html>)からお申し込み下さい。(受講無料)

テクトロニクスについて

テクトロニクスは、計測およびモニタリング機器メーカーとして、世界の通信、コンピュータ、半導体、デジタル家電、放送、自動車業界向けに計測ソリューションを提供しています。65年以上にわたる信頼と実績に基づき、お客様が、世界規模の次世代通信技術や先端技術の開発、設計、構築、ならびに管理をより良く行えるよう支援しています。米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、現在世界22カ国で事業を展開しています。詳しくはウェブサイト(www.tektronix.com/ja)をご覧ください。

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL <http://www.tektronix.com/ja>

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。